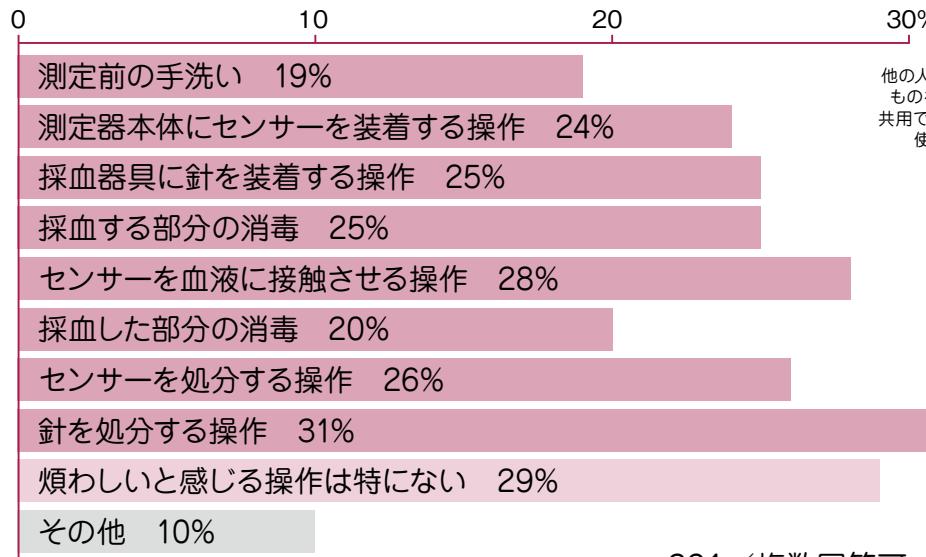


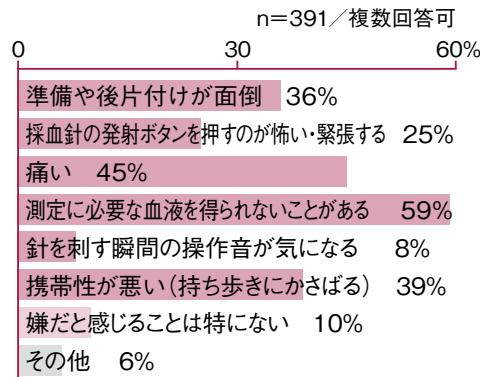
糖尿病ネットワークを通して
糖尿病患者さんに聞きました

Q. SMBGの一連の操作の中で、特に煩わしいと感じるのは？



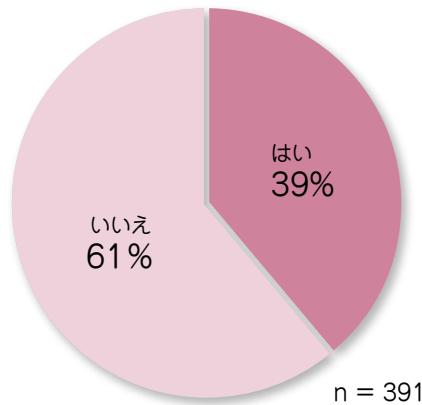
医療スタッフの回答と同様に、患者さんも採血に関わる操作に煩わしさをお感じのようです。そこで次に、採血に関連する操作等に絞ってさらに詳しくみてみましょう。

Q. SMBG測定の採血に関する操作などで、嫌だと感じるのはどんなことですか？



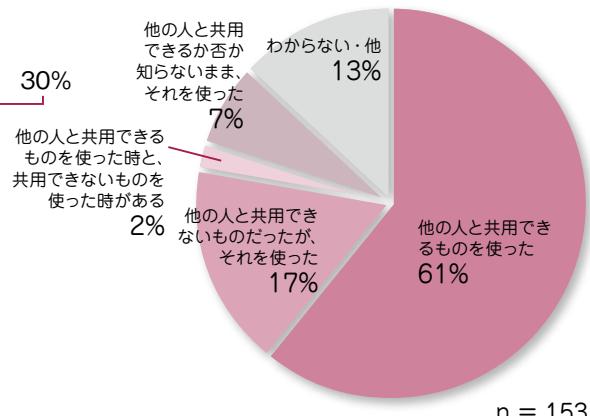
「必要な血液量を得られないことがある」「痛い」とともに、「携帯性が良くないこと」や「準備・片付け」も、煩わしさの原因のようです。

Q. あなたの血糖測定器を使用して、ご家族など他の人の血糖測定をしたことがありますか？



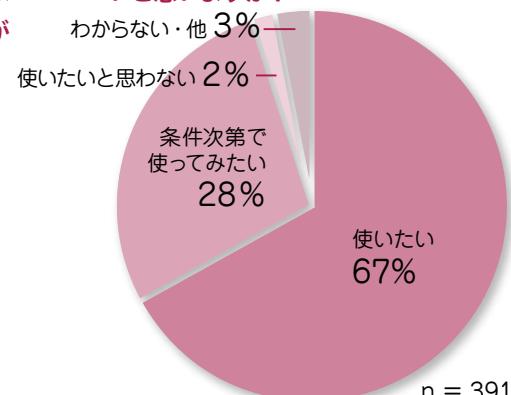
患者さんがご家族等の血糖値を測ったことがあるかと尋ねたところ、4割が「ある」とのこと。そこで、「ある」と回答した人(n=153)に、使用した採血器具の種類を尋ねてみました。

Q. 他の人の血糖測定をした際、採血器具はどのタイプを使いましたか？



共用可か否か知らないで、または知っていたのに共用できない採血器具を使った人も少なくないようです。

Q. 現在ご使用中の採血器具より安全・簡単・痛みが少ないなどのメリットのある採血器具があるとしたら、使用してみたいと思いますか？



最後に、操作が簡便で安全な全体がディスプレイの採血器具を想定して上記の質問をしてみたところ、「使いたい」が約7割、「条件次第で使ってみたい」が約3割で、後者の“条件”にはコストへの不安が多数という結果に。ただし、保険診療でSMBGをされている場合は、採血器具のコストが変わっても患者さんの窓口負担に影響はありません。

自由記述から

【医療スタッフ】高齢者でも使いやすい外形の工夫がされているものがあればと思う(50代、看護師)／押し付けがあまい人はボタンタイプでは血が出ないことがある(男性、臨床検査技師)／コストが安くなれば病院にかけあえる(女性、30代、看護師)／本来、利点・欠点を伝えて患者さんに選んで欲しいが、器具とセットであつたり難しい(女性、40代、医師)／全体がディスプレイのものは勢いが良く穿刺の深さの調節ができなくて痛みが強い。音も大きい。患者に対して乱暴な感じがあり使用しにくい(女性、50代、看護師)／個人使用のものはむしろ何回か使うことを勧めている。それで感染が問題になるとは考えていない。もちろん病院で使用するものはすべてディスプレイ(女性、50代、医師)／ディスプレイ針で長さの調整ができるうれしい(女性、40代、看護師)

【患者さん】血糖測定はしなければいけないと思っているので、全てを受入れているが「最新情報を持っているか？」と聞かれると答えられない。最新器具についての情報を得たい(60代、女性、1型)／実際の痛みは少ないが、採血時の微妙な緊張感を毎回感じる(60代、男性、1型)／測定する血液量に、器具によって差があると分かっているが選択の余地がないのが切ない(40代、女性、1型)／バネが固くて穿刺の瞬間がとても怖くて指先から血が引くし汗がじむ。穿刺スイッチが軽くて少しゆっくり穏やかに刺さるタイプなら使えると思う(50代、女性、2型)／患者自身は毎日使い慣れているから問題はないが、患者自身が測れない時(低血糖時)には、使い慣れていない人でも使いやすいような機器が必要だと思う(40代、女性、1型)／毎回使い捨てるのももったいない感じがする(60代、男性、1型)